



2009年9月18日

～2012年度予定 副都心線中心相互直通運転に向け～  
**10月3日(土)、「チームFライン Zストラップ」を発売**  
5社による共同企画オリジナル商品

東武商事株式会社  
西武鉄道株式会社  
株式会社メロコマース  
株式会社東急ステーションリテールサービス  
横浜高速鉄道株式会社

東武商事株式会社(本社:東京都墨田区、社長:飯塚 一成)、西武鉄道株式会社(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤 高志)、株式会社メロコマース(本社:東京都台東区、社長:野村 勝彦)、株式会社東急ステーションリテールサービス(本社:東京都目黒区、社長:瀧澤 清一)、横浜高速鉄道株式会社(本社:横浜市中区、社長:中島 弘善)は10月3日(土)から、5社共同企画オリジナル商品「チームFライン Zストラップ」の販売を開始します。

販売場所は、東武駅売店ACCESS(アクセス)と一ぶ112店舗、西武駅売店(TOMONY)含む70店舗、東京メトロ定期券うりば12箇所、東急駅売店toks(トークス)全87店舗、LAWSON+toks 3店舗、電車とバスの博物館、MM Miyage(エムエムみやげ)、ちけっとらんど、各社イベント等。

価格は5個セット 1,000円(税込)。5社合計15,000個の限定販売です。

## TEAM F LINE

「チームFライン」は、2012年度に予定している副都心線の相互直通運転に向け、共同商品開発チームとして立ち上がりました。

チームFラインの名称は、5社の団結感と電車＝スピード感が出るよう「チーム」と名づけ、「F」は副都心の「F」および5社＝FIVEの「F」、つながる＝ラインの意味で、ロゴデザインには丸いサークルを施しました。

グッズを通して、首都圏の鉄道を利用するお客さまにより親しみを持っていただければと考えております。

「チームFライン Zストラップ」の概要は別紙の通りです。



この「チームFライン Zストラップ」は、5社共同オリジナルグッズ第一弾になるZゲージ規格と同一のストラップです。共同商品ならでは実現した、5車両(東武東上線50070系、西武線6000系、東京メトロ副都心線10000系、東急東横線5050系、みなとみらい線Y500系)のセット商品です。

セットになった車両のマスコットは、携帯電話やキーホルダーなどお好みによって付け替えができます。マスコットの材質は軟質なプラスチックでできているため、携帯電話を傷つけないよう配慮されており、各路線の特徴ある車両をデフォルメして再現された、かわいいストラップとなっております。

(参考)本日、この資料は国土交通記者会、川崎第一記者クラブ、横浜市政記者クラブ、横浜経済記者クラブにお届けしています。

《本件に関するお問い合わせ先》

東武商事株式会社 第一営業部 担当:熊倉・宮下  
電話番号: 03-3623-0387

西武鉄道株式会社 広報部 担当:町田・佐藤  
電話番号: 04-2926-2045

株式会社メトロコマース リテール事業本部営業第一課 担当:石川・池上  
電話番号: 03-5246-8124

株式会社東急ステーションリテールサービス 経営管理部 担当:吉田・地引  
電話番号: 03-5768-7830

<http://www.e-toks.co.jp/>(東急ステーションリテールサービスホームページ)

横浜高速鉄道株式会社 経営企画課 担当:峯・本間  
電話番号: 045-664-0625

## 別紙

### 【チームFライン Zストラップの概要】

#### ○商品名

「チームFライン Zストラップ」

※東武鉄道株式会社商品化許諾済

※東京地下鉄株式会社商品化許諾済

※東京急行電鉄株式会社商品化許諾済

※横浜高速鉄道株式会社商品化許諾済

#### ○販売開始日

2009年10月3日(土)

#### ○セット価格

1,000円(税込)

#### ○仕様

電車マスコット5車両セット

(東武東上線50070系、西武池袋線6000系、東京メトロ副都心線10000系、東急東横線5050系、  
みなとみらい線Y500系)

1個の車体サイズ:長さ27mm、幅11mm、高さ15mm

パッケージサイズ:長さ150mm、幅70mm

#### ○販売数

15,000個限定(各社販売数は異なります。)

#### ○販売場所

- ・東武線駅売店 ACCESS と一ぶ 112 店舗(一部店舗をのぞく)、am/pm東武線駅構内 14 店舗(一部店舗をのぞく)、インターネットショッピングサイト 東武マーケット(<http://www.tobushoji.jp/>)
- ・西武線駅売店(TOMONY 含む)70 店舗(一部店舗をのぞく)
- ・東京メロ 定期券うりば 12 箇所  
(上野・新橋・有楽町線池袋・飯田橋・銀座・豊洲・新宿・赤坂見附・明治神宮前・茅場町・浦安・錦糸町)
- ・東急線駅売店 toks 全 87 店舗、LAWSON+toks 3 店舗
- ・MMMiyage(エムエムみやげ みなとみらい駅)
- ・ちけっとらんど(みなとみらい駅)
- ・電車とバスの博物館(川崎市宮前区)
- ・各社イベント等

#### ○お客さまからのお問い合わせ先

東武商事 第一営業部 TEL 03-3623-0387

西武鉄道 お客さまセンター TEL 04-2996-2888

メトロコマース ステーション事業本部営業部営業課 TEL 03-5246-8135

東急ステーションリテールサービス お客様センター TEL 03-5768-7847(平日9時~17時まで)

横浜高速鉄道 お客様電話 TEL 045-664-0629(平日9時~17時30分まで)

## 【参考】

### ○Z ゲージ

鉄道模型の規格の一つであり、線路の幅(軌間)が 6.5mm、縮尺がおよそ 1/220 のもの

### ○副都心線の東急東横線との相互直通運転

東横線の渋谷～代官山間の約 1.4km 区間を地下化し、2012 年度から渋谷駅で東京メトロ副都心線と相互直通運転をおこなう予定。この計画によって、東武東上線・西武池袋線から東京メトロ有楽町線・副都心線を経て、東急東横線と横浜高速鉄道みなとみらい線までがひとつの路線として結ばれ、東横線は、首都圏の広域的な鉄道ネットワークの一翼を担うこととなり、都市交通の利便性向上と円滑化が期待されます。

### ○東武鉄道 50070 系

東武鉄道の車両では 100 系「スーシア」で初めてアルミ車体を採用していたが、通勤車では本系列が初めて採用、2007 年 6 月から東上線系統で営業運転を開始している。車両のカラーリングは「輝く」を意味するシャイニーオレンジ色。

### ○西武鉄道 6000 系

東京メトロ有楽町線及び副都心線直通運転用で、ステンレス及びアルミ製車体やモノリンク式台車などにより軽量化を図った10両固定編成の車両。VVVF インバータ装置、電力回生ブレーキを採用し、サービス向上を図るため車内案内表示器、通話式非常通報装置や車いすスペースを備えている。

### ○東京メトロ 10000 系

2008 年 6 月 14 日に開業した副都心線に対応した車両として開発された。「快適性や使い易さの向上」、「リサイクル性の向上」、「火災対策の強化」、「車体強度の向上」、「コストダウン・省メンテナンス」をコンセプトにしている。丸みを帯びた独創的な先頭形状で、車体ラインカラーは副都心線のラインカラーである茶色をベースとしている。2007 年度グッドデザイン賞を受賞。

### ○東京急行電鉄 5050 系

2004 年 4 月から東横線へ導入され、「人と環境にやさしい車両」をコンセプトとして、バリアフリー化のため、ホームと床面の段差を減らし、一部の吊り手を低くしている。軽量ステンレス車体に東急のコーポレートカラーである赤と運用される各路線のラインカラー(東横線は桜色)を用いている。

### ○横浜高速鉄道 Y500 系

2004 年 2 月 1 日に営業運転を開始し、東急 5000 系・5080 系を設計のベースとしている。「ヨコハマの海」をイメージした鮮やかな青と「躍動感のある都市」をイメージした黄色のグラデーションで、「みなとみらい線」を象徴する「M」をモチーフとしたジグザグ模様を 2 両分の車端部に描き、FRP 製の前頭部は「伸び行く都市」をイメージしたメタリックブルーに彩色されている。

以上